

平成19年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校自己評価表

学校番号	81	長野県筑摩高等学校定時制課程夜間部
------	----	-------------------

1 目 標

夜間部教育目標	重点目標(中長期的目標)	総 合 評 価				
(夜間部教育目標) 1. 働きながら学べるというシステムを最大限生かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望をもたせる。 2. 集団に適応できる自律的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3. 地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し豊かな人間性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して通学、学習できる環境の確立 生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備 学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上 					
	平成19年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	<ul style="list-style-type: none"> 進級および卒業率の引き上げ 進学および就職などの進路保障のいっそうの充実 		○			

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 二期制(分割認定)に関わる課題の検討 工業科目(選択)設置に関する検討 学校設定科目の検討 教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業日数は確保できたか 単位修得者は増えたか 科目に生徒の実態や要望にかなっているか 生徒が積極的に取り組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 今年も前期卒業生を送り出した。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 工業科目など、生徒に役立つカリキュラムの研究ができた。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の充実 授業の再点検による充実・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が協力して指導したか 生徒が意欲的に取り組んだか 授業アンケートの実施と検討会等 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が授業に何とか集中できるようになってきている。 		○		
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 改訂生徒指導方針の検討 生徒個々人の状況把握の強化、システム化 交通安全指導の実施 基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 改訂指導方針に対する生徒・保護者の理解・協力が得られたか 個人カードの作成 通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか 挨拶や上下履きの区別ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 性的な問題、交通事故の問題に日頃から対処し生徒に浸透できる指導方法を研修で確立していく必要があると感じる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> より細かく生徒ひとりひとりの実情を把握し、それを職員で共有することが必要。
教育活動	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の実施 進学、就職の情報提供 進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> 年次にあった希望調査をしたか 適切な情報提供ができたか 個別に面接・作文・小論文指導など、の対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導(とくに就職)の新たな展開がすすんだ。 		○		
	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒別の履修登録指導 SHR、LHR活動の充実 保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 単位習得の実態に即し、個別に対応できたか クラス・学年ごとの計画を立案したか 保護者との連携を密にしたか 	<ul style="list-style-type: none"> HRでの進路指導が充実してきている。 保護者との連絡態勢はできている。 			○	<ul style="list-style-type: none"> LHRの年間計画が立てられるとよい。(水曜日の活動の妨げにならない範囲で)
	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> 文化発表展示の充実 諸行事運営方法の検討 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が取り組んだか 執行部、委員会が機能したか 日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> すべての年次・すべての生徒が参加できる態勢ができた。 練習の成果が結果に結びついた。 		○		
学校運営	研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「多部制・単位制」の研究が深まったか 			○		<ul style="list-style-type: none"> 所属年次について研究を迫られる事例が今後生ずるのではないか。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の適正化 「学校運営支援システム」活用の検討 書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌の合理的な運営ができたか 合理的・効率的な活用法が実現できたか 文書、データ等を効率よく管理できたか 			○		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は非常事態でやむを得ないが分掌の不均衡はある。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、中学校、地域への学校公開 事業所・企業主との連携 学校評議員会との協力 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に公開でき、理解を深められたか 事業所訪問や広報活動ができたか 意見交換の場を設けられたか 	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開はいろいろな機会で開催している。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員の授業見学が(以前から要望しているが)実現しない。